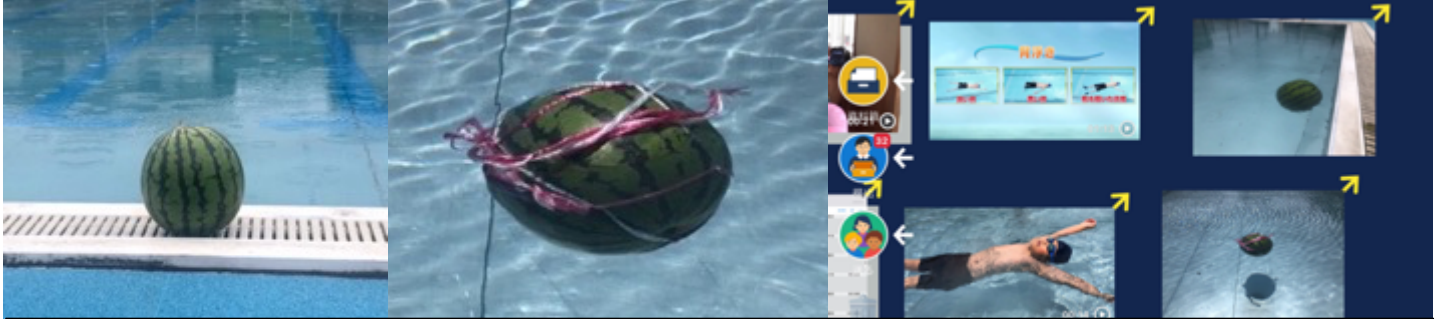


水泳授業が充実する10の小物たち

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

本校では三年ぶりに水泳授業が復活しました。そこで、水泳の授業で使っている小物を紹介します。



浮力を可視化するための日田西瓜（地元山田原の畑で訳あり西瓜を安価でいただきました）



スズランテープと幟の支柱で作ったプール上空のコースロープ 結束バンドでフェンスに止めています



今年は全学年「背浮き」から授業に入っています





水とんの術と水飛ばし

「宝探し」のグッズと100均で買い揃えた「水切り器」 顔つけや水かけのトレーニングに役立ちます



ホースとジョイント この輪は体育館でボール運動やリレーの待機場所の目印にも使っています



水を透明にするアクアピル（薬品） 水をより透明にすることは子どもたちの水に対する恐怖心の軽減に 濾過器のヘアーキャッチャーに入れて使います



ロープ牽引 どの姿勢が早く泳げるのかどの姿勢が引いてて軽いかチーム対抗で体験してもらいました



跳び箱と台車 悪天候時は体育館で「どんな乗り物が速い？」の問いからのイメージを姿勢に



ペットボトルと紐で作った補助具 ペットボトルのダブル、シングルから無しへ段階的に「おまじない」程度のものですが心理的な効果が見られます



距離表示コーンとネームプレート 子どもにとっては距離が学習成果としてわかりやすいようです
個人差はありますがみんな 25m に向かって上がっていきます



騒音アプリ（無料版）

低学年の子に「静かに着替えよう」と言うより視覚で伝えた方が効果大です